

評価機構

2017

9

月号

NEWS LETTER

特集

EBM医療情報事業(Minds)新ウェブサイト
「Mindsガイドラインライブラリ」のご案内



人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

病院機能改善支援セミナー【総合】を開催

(評価事業推進部)

評価事業推進部では、平成30年4月から運用開始予定の「機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0」について初めて解説する、「病院機能改善支援セミナー【総合】」を平成29年7月25日に開催し、約350名の方々が参加しました(日本医師会館大講堂)。

評価項目については、診療サーベイヤーの小林利彦氏、看護サーベイヤーの市川幾惠氏、事務管理サーベイヤーの佐合茂樹氏が解説しました。続いて、公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センターによる3rdG:Ver.1.1の受審病院体験談では、次回に更新する5年後を見据えて、若手の職員が積極的に準備に関与し、自発的にケアプロセスに取り組む、といった事例を共有しました。全体を通して、今後の受審に向けて取り組むことが明確になった、との感想を数多くいただきました。

本セミナーの次回開催については、評価機構のホームページ等でお知らせしています。



医療安全マスター養成プログラム 開催のご案内

(教育研修事業部)

教育研修事業部では、平成28年度より、医療安全の実務を担う方の継続的な学びの支援として「医療安全マスター養成プログラム」を開講しています。

研修では、既に医療安全に関する一定の知識と経験をお持ちの方を対象に、医療安全の基本を復習しながら「医療システムとレジリエンス」や「施設・環境・設備のマネジメント」といった新たな内容など、医療安全業務に活かせる知識を2日間で学びます。

また、今年度は知識の定着を図り日常業務への応用を考えていただく継続研修も開催予定です(当プログラム受講者限定)。

良質の学びを継続し、医療安全活動をブラッシュアップするためにもぜひご参加ください。

《医療安全マスター養成プログラム (Day1・Day2)》

第2回 平成29年12月2日(土)・3日(日)

第3回 平成30年2月24日(土)・25日(日)

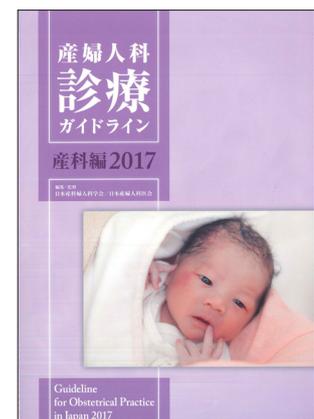
※詳細は評価事業ホームページ (<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>) をご覧ください。

産婦人科診療ガイドラインと産科医療補償制度

(産科医療補償制度運営部)

平成29年4月に改訂された「産婦人科診療ガイドライン産科編2017」において、産科医療補償制度の「再発防止に関する報告書」が、わが国の脳性麻痺発症の要因を分析している貴重な資料と位置付けられ、ガイドラインの解説やAnswer作成の参考とされています。一方で、このガイドラインは、本制度の原因分析において、医学的評価の判断基準および改善事項等の提言の根拠の一つとして活用されています。

巻頭言においては、「ガイドラインと産科医療補償制度を車の両輪として、これからも産科医療が発展していくことが期待される」と記載されています。今後も、我が国の産科医療の質の向上がはかられるよう本制度の運営に取り組んでいきます。



「Mindsフォーラム2018 (予定)」のご案内 (EBM医療情報部)

EBM普及推進事業 (Minds) の一環として、Mindsの取り組み、および、診療ガイドラインを広く知っていただくため、また、皆様と意見交換を行うため、年1回、フォーラムを開催しています。今年度は次のテーマ、日時、場所で開催を予定しています。

- テーマ・・・「診療ガイドラインの活用(仮)」
- 日時・・・2018年1月13日(土) 13時～17時
- 場所・・・日本医療機能評価機構9階ホール(東京都千代田区)

プログラムの詳細が決まり次第、Mindsガイドラインライブラリやメールマガジン等でご案内します。メールマガジンの配信は、ユーザー登録時に選択できます。ぜひご登録ください。

- MindsガイドラインライブラリURL：<https://minds.jcqhrc.or.jp/>
- ユーザー登録方法：Mindsガイドラインライブラリの“ログイン”ボタンを押してご登録ください。
(詳細は、Mindsガイドラインライブラリのページ下部にある「よくあるご質問」をご参照ください)

年報・医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業は、8月28日に平成28年年報を公表しました。年報には、本事業に参加をいただいているすべての医療機関を対象にした報告の集計、医療機関を訪問して事例の詳細を得る現地状況確認調査の内容や、2016年に報告された医療安全情報の再発・類似事例などを掲載しています。

また、以下の医療安全情報を提供しました。

- No.128「手術部位の左右の取り違いー脳神経外科手術ー」(7月)
- No.129「併用禁忌の薬剤の投与(第2報)」(8月)

詳細は、ホームページをご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>



No.128 (1ページ目)



No.129 (1ページ目)

医療の質・安全に関するセミナーを開催ーオンラインで基礎知識を解説ー (総務部)

7月18日に「医療の質・安全に関するオンラインセミナー(Webinar)」を開催し、評価機構・統括調整役兼EBM医療情報部長の菅原が「Back to Basics～医療の質に関するトピックス～」について講演しました。医療に携わるすべての人が踏まえておくべき基礎知識として、そもそも医療の質とは何か、医療の質をどうやって改善するのかなどの基礎的な内容について解説し、全国各地から約70名の方に視聴いただきました。

録画およびスライドは、以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://www.isqua.org/education/non--english-language-content/japanese-webinars>



EBM医療情報事業 (Minds) 新ウェブサイト 「Mindsガイドラインライブラリ」のご案内

EBM医療情報部 部長
菅原 浩幸

EBM医療情報部 客員研究員
佐藤 康仁

1. Mindsガイドラインライブラリについて

EBM医療情報事業 (Minds) は、わが国で作成された診療ガイドラインのうち、作成方法の観点から質が高いと考えられる診療ガイドラインの書誌情報をウェブサイトに掲載しています。さらに、著作権者にご協力をいただいた診療ガイドラインは、本文が無料公開されています (2017年8月15日時点で、最新版の診療ガイドライン189件の本文が公開されています)。

このたび、Mindsウェブサイト、診療ガイドラインの利用者や作成者が一同に集まるウェブ上の図書館にしていきたいという意味を込め、「Mindsガイドラインライブラリ」としてリニューアルしました。本特集で新しい機能をご紹介しますながら、新ウェブサイトの使い方についてご案内します。診療ガイドラインは、「患者と医療者の意思決定」を支援するものです。また、一般の方向けの解説もありますので、ぜひ活用してください。

「Mindsガイドラインライブラリ」<http://minds.jcqhc.or.jp/>

2. Mindsガイドラインライブラリの使い方

Mindsガイドラインライブラリにアクセスすると、利用者がアクセスしている端末の画面幅にあわせてコンテンツが表示されます。これは、レスポンシブウェブデザインと呼ばれる画面調整機能によるもので、スマートフォン等の画面が小さい端末からご覧いただく場合でも見やすいサイトになりました。

トップページの画面を例に見てみます。パソコンからアクセスすると、画面上部にサイトメニューが並んで表示され、そこからガイドライン利用者向け情報や、ガイドライン作成者向け情報等のページにアクセスできます (図1)。

スマートフォンからアクセスすると、サイトメニューを並んで表示させることが難しいため、代わりにメニューボタンが表示されます。メニューボタンを押すと、中に格納されているサイトメニューが表示されます (図2)。

図1：パソコン表示

サイトメニュー



図2：スマートフォン表示

メニューボタン



メニューボタンを押すと、右図のようにサイトメニューが表示されます。

診療ガイドラインを調べる

次に、診療ガイドラインの調べ方をご案内します。Mindsガイドラインライブラリでは、パソコンでもスマートフォンでも、トップページから診療ガイドラインを調べることができます(図3)。

図3：診療ガイドラインを調べる
(パソコン表示)

トップページにある、検索メニュー(オレンジ色の枠内)から診療ガイドラインを調べることができます。
※スマートフォンからではレイアウトが一部変更されますが、同様の検索メニューが表示されます。



Mindsでは、利用者が診療ガイドラインを検索しやすいよう、診療ガイドラインごとに疾患・テーマ名を付記し、その疾患・テーマ名に関連するカテゴリにグループ分けしています。例えば、消化器に関連する診療ガイドラインを調べたい場合、検索メニューの中にある消化器のカテゴリを選択し、下にある検索ボタンを押します。

すると、消化器のカテゴリに登録されている診療ガイドラインの疾患・テーマ名が表示されます。その中で、調べたい疾患・テーマにチェックを選択し、検索するボタンを押すと、その疾患・テーマに関連する診療ガイドラインの書誌情報が一覧で表示されます(図4)。一覧画面で診療ガイドラインのタイトルが青字で押せるものは本文まで閲覧できます。本タイトルが黒字で押すことができない診療ガイドラインは本文が閲覧できません。書誌情報のみ登録されています。著作権者からの許諾が得られ、掲載準備が整い次第、本文が閲覧できるようになります。

図4：選択した疾患・テーマに関連する診療ガイドラインの一覧画面

炎症性腸疾患 (IBD) を選択した場合の表示例



以上が基本的な診療ガイドラインの調べ方になりますが、キーワード検索や、登録されている全ガイドラインの一覧から条件を絞り込んで検索する方法もあります。お好みに合わせてご利用ください（絞り込みは診療ガイドライン一覧の画面で設定できます。パソコン表示では画面右側より、スマートフォン表示では画面上部左側の条件変更ボタンを押してご利用ください）。

なお、Mindsガイドラインライブラリのページ下部にも、使い方のご案内を用意しています。あわせてご覧ください。

CQサマリー*を検索する

今回のリニューアルにあたり、タブレット、スマートフォン向けアプリケーション「Mindsモバイル」で提供してきたCQサマリー検索の機能をウェブサイト統合しました。CQサマリー検索ボックスにキーワードを入力し、検索対象を選択した上で、検索ボタンを押すと、関連するCQサマリーを診療ガイドライン横断的に検索することができます（図5）。

*個々の診療ガイドラインに含まれるクリニカルクエスチョン（Clinical Question；CQ）の内容を、

“CQ－推奨－推奨の強さ－エビデンスの強さ－解説”の標準的なフォーマットでまとめたもの。

*一部の診療ガイドラインのみCQサマリーが登録されています。

図5：CQサマリー検索ボックス



パソコン表示ではトップページ右側上部（オレンジ色の枠内）

※スマートフォン表示ではページ下部にあります。

3. おわりに

今回のリニューアルを経て、Mindsウェブサイトは、どの端末からでも使いやすくなりました。パソコンでもタブレットでもスマートフォンでも、インターネットブラウザで「Mindsガイドラインライブラリ (<http://minds.jcqhc.or.jp/>)」にアクセスいただければ、Mindsが提供するすべての機能、情報をご利用いただくことができます。

Mindsでは、診療ガイドラインがより普及し、より活用されることを目指しています。そのため、診療ガイドラインを公開しているウェブサイトについても、より使いやすくなるよう、今後も改修を検討していきます。「Mindsガイドラインライブラリ」やMindsに関して、ご意見、ご要望等ございましたら、サイトメニュー（図1、図2参照）から“お問い合わせ”を選択し、お申し付けください。今後ともMindsをよろしくお願いたします。

Information

各イベントの申し込み方法、詳細については評価機構のホームページのイベント情報をご覧ください。開催日の概ね2か月前よりお申し込みの受付を開始します。

<https://www.jcqhc.or.jp/> 日本医療機能評価機構 ▶ ホーム ▶ イベント情報

9月～2月

9月	2日	(PSP) 第3回チーム医療研修会
	12日	第2回病院機能改善支援セミナー(総合) (大阪開催)
	13・14日	第2回医療クオリティ マネジャー養成セミナー (1・2日目)
	21日	医療対話推進者養成セミナー(導入編)
	22日	(PSP) 第2回 CVC研修会
10月	10日	病院機能評価 受審支援セミナー(愛知開催)
	13・14日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編D)
	19・20日	第2回医療クオリティ マネジャー養成セミナー (3・4日目)
	27日	医療対話推進者養成セミナー(導入編) (青森開催)
	28日	機能種別版評価項目「一般病院3」 説明会(東京開催)
11月	28・29日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編I) (青森開催)
	11・12日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編E)
	18・19日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編G) (山口開催)
12月	2・3日	第2回医療安全マスター養成プログラム
	2・3日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編J) (愛知開催)
	9・10日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編K) (埼玉開催)
	12日	第3回病院機能改善支援セミナー(総合) (東京開催)
	13・14日	第3回医療クオリティ マネジャー養成セミナー (1・2日目)
1月	16・17日	医療対話推進者養成セミナー(基礎編F)
	19・20日	第3回医療クオリティ マネジャー養成セミナー (3・4日目)
2月	24・25日	第3回医療安全マスター養成プログラム

詳細は順次掲載されるホームページをご覧ください。

編 集 後 記

評価機構では、平成30年4月より機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0の運用を開始します。運用開始に向け、各セミナーの開催や解説集の事前申し込みを受け付けています。

解説集では、各評価項目の中項目について、意図(ねらい)や目指すべき方向性(本来のあり方や望まれる状況)を解説していますので、ぜひお申し込みください。10月中旬より順次、発送します。

※解説集の詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/tool/>

■ 平成29年度 機能種別版評価項目 「一般病院3」説明会

平成30年4月より運用開始予定の、機能種別版評価項目<3rdG:Ver.2.0>の「一般病院3」について、創設した目的や概要、評価項目のポイント等を解説します。これから受審をお考えの病院の皆様あるいは認定更新を迎えられる病院の皆様は、ぜひこの機会をご利用いただきますよう、ご案内申し上げます。

[日 時] 2017年10月28日(土) 14:00~16:30

[会 場] 公益財団法人 日本医療機能評価機構
9階ホール(東京都千代田区)

[定 員] 80名

[対 象] 「一般病院3」受審予定病院の、病院機能評価担当者およびプロジェクトチームのリーダー等

[参加費] 1名につき5,000円

[申込方法] 評価機構ウェブサイト「イベント情報」欄よりお申込ください。

[問合せ] 評価事業推進部 支援課 (03-5217-2326)

認定病院の改善事例紹介シリーズ 「Improve」のご案内

認定病院の改善事例紹介シリーズ「Improve」(リーフレット)を発行しています。

今年度は「患者中心の医療」をテーマに、病院機能評価を活用して改善に取り組んだ病院の事例を紹介しています。2017年7月に発行した第10号では、岡山県のリハビリテーション病院取材し、リハビリテーション医療のあるべき姿に向けた取り組みについて取り上げています。

バックナンバーは病院機能評価事業のホームページ(<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>)にも掲載しています。



評価機構

NEWS LETTER 2017年9月1日発行
(奇数月1日発行)

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構(略称：評価機構)

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320(代) / (編集：総務部情報企画課) 03-5217-2335

<https://www.jcqhc.or.jp/> e-mail: info@jqhc.or.jp

本誌掲載記事の無断転載を禁じます